

奈良教育大学附属自然環境教育センター奥吉野実習林のコウモリ相

徐華¹⁾・奥村一枝¹⁾・前田喜四雄²⁾・久保敬章²⁾・研谷誠一¹⁾

¹⁾ 特定非営利活動法人東洋蝙蝠研究所, ²⁾ 奈良教育大学附属自然環境教育センター

Fauna of bats in the Oku-Yoshino Forest for Practical Exercises,
Center for Natural Environment Education, Nara University of Education

Hua XU¹⁾, Kazue OKUMURA¹⁾, Kishio MAEDA²⁾, Takayuki KUBO²⁾, and Seiti TOGITANI¹⁾

¹⁾ Non profit organization Asian Bat Research Institute, ²⁾ Center for Natural Environment Education, Nara University of Education

Abstract : Following five species of bats were recorded newly at the Oku-Yshino Forest for Practical Exercises, Center for Natural Environment Education, Nara University of Education in Ohto village, Yoshino-gun, Nara-prefecture: *Rhinolophus ferrumequinum*, *Rhinolophus cornutus*, *Myotis puvionosus*, *Pipistrellus endoi*, and *Murina ussuriensis*.

奈良県からはこれまでに12種のコウモリ類が知られている(環境省自然環境局生物多様性センター、2004)。しかし、これまで奈良県吉野郡大塔村(現在:五條市大塔村)にある奈良教育大学附属自然環境教育センター奥吉野実習林からコウモリ類はまったく報告されていないし、この実習林のある旧大塔村からもまったくコウモリ類の記録は知られていない。

最近、奈良教育大学附属自然環境教育センター奥吉野実習林から数種のコウモリ類が記録されたので報告する。なお、この実習林からかつて採集されたが未発表であったコウモリについてもあわせてここに記す。

奈良教育大学附属自然環境教育センター奥吉野実習林は奈良県吉野郡大塔村(現在:奈良県五條市大塔村)清水にある赤谷川の南斜面からなる。ここの面積は約176haであり、全体的に急峻な山塊からなり、平地部は標高400m、最高峰の清水峰は1,186.2mである。ここはかつて奈良教育大学の附属演習林であった経緯があり、スギ・ヒノキからなる人工林が約20ha占める。残りは自然林であるが、標高が1,110m付近から上部にはブナの大木からなる原生林からなるが、他は40年以上前に一度伐採されたが、そのまま放置されている自然林であり、このような場所はかつての植生に戻りつつあり、ミズナラ、イヌブナ、シデ類、トチノキ、ヤマザクラ、ミズメ、ヒメシャラ、サワグルミ、カエデ類、モミ、ツガなどの胸高直径が40mを越す大木が多い(奈良教育大学、1994)。

記録は以下の4回にわたって行われた。

1. キクガシラコウモリ *Rhinolophus ferrumequinum*

本実習林の平地部にそって村道が走っているが、その道路脇にある直径が40cmくらいの石上に、1991年5月4日に本種1頭うずくまっていた。これを保護した時は生きていたが、まもなく死亡したが、死因は不明であった。この個体はメスで、体重は15.5g、前腕長は61.0mmであった。このコウモリの昼間の隠れ家は洞窟であり、ここからもっとも近い洞窟は3kmくらい離れたところ

にある野迫川村立里にある廃坑であり、この廃坑より飛来した可能性もあるが、詳細は不明である。

2. モリアブラコウモリ *Pipistrellus endoi*

実習林の平地部に2階建ての講義研究棟が建っているが、2007年7月28日午後3時ころ、その張り出している2階の屋根の下の板壁にコウモリが4頭張り付いているのを発見した。2個体を捕獲した。これらはモリアブラコウモリであり、翼を構成する指骨の骨化の状態から幼獣と判断されたが、奈良県でコウモリの出産が行われる時期から想像すると、いずれも生後1か月くらいと推測された。他の2個体も同じ種と思われ、その夕方にはこの場所から消えて、翌朝にはもうこの場所に帰って来なかった。ここで本種の幼獣が確認されたということは、この近くで出生し、独り立ちしたことが考えられる。本種の昼間の隠れ家が通常は樹洞であり（阿部ほか、2008）、この周辺で唯一樹洞をもつ大木が多く存在するのは本実習林であり、これらの幼獣が出生したのは、本実習林内である可能性が高いと思われる。

なお、本種の奈良県での記録は上北山村の大台ヶ原のみであり（Kobayashi et al., 1970；環境省自然環境局生物多様性センター、2004）、今回の記録は奈良県では2場所目ということになる。

3. コテングコウモリ *Murina ussuriensis*、クロホオヒゲコウモリ *Myotis pruinus*

本実習林の標高約800mの通称シャクヤク沢に2008年7月26日午後7時にカスミ網を3張り仕掛けた。これらを午後10時まで見張り、合計5個体のコウモリ類を捕獲した。なお、この5個体はすべて午後8時から8時半の間に捕獲された。これらのうち、3個体はコテングコウモリであり、いずれもこの年生まれの幼獣であり、本実習林内で出生し、独り立ちしたと考えられる。2頭がオス、1頭がメスであり、体重と前腕長をあわせて表1に示した。残りの2個体はクロホオヒゲコウモリであり、いずれも成獣のオスとメスであり、同じく測定値を表1に示した。なお、このうち、前者の2頭と後者の1頭は測定後速やかに逃がした。

なお、コテングコウモリは奈良県からはこれまで1991年に大台ヶ原で1頭のみ確認されており（前田、1993）、その後の記録はなく、今回の記録が奈良県で2例目となる。この場所はかつての大台ヶ原の記録地とは約35km離れている。

また、クロホオヒゲコウモリは野迫川村大股の伯母子国有林下谷で1992年に1頭が確認された（前田、1993）あと、2003年に天川村、川上村、および再度野迫川村で確認されている。今回の記録はもちろん本実習林では当然として、旧大塔村においても初記録となり、野迫川村のかつての記録地から約12km離れている。

4. コキクガシラコウモリ *Rhinolophus cornutus*

本実習林のほぼ同じ場所に2008年9月27日午後6時に、同様に3張りのカスミ網を仕掛けて、午後9時まで見張った。その結果は成獣メスのコキクガシラコウモリが1頭捕獲されたのみであった。本種も前述のキクガシラコウモリ同様に昼間の隠れ家は洞窟であり、私たちが知っているここから一番近い洞窟まで3kmは離れている。したがって、このように3kmも離れている洞窟からここまで採餌のために飛来したことも考えられるが、私たちが知らない洞窟がもう少し近いところにある可能性もあるが、詳細は不明である。

前述のように奈良県五條市大塔村清水のある奈良教育大学自然環境教育センター奥吉野実習林から、新たに5種のコウモリが記録された。いずれも旧大塔村においても初記録となる。

引用文献

阿部永・石井信夫・伊藤徹魯・金子之史・前田喜四雄・三浦慎吾・米田政明、2008、日本の哺乳類改訂2版、東海大学出版会、pp. 206.

環境省自然環境局生物多様性センター、2004、第6回自然環境保全基礎調査、生物多様性調査、種

の多様性調査（奈良県）報告書、pp. 37.

Kobayashi, T., H. Abe, and K. Maeda, 1970. Faunal survey of the Mt.Odaigahara area, JIBP supplementary area-IV. Report of the small mammal fauna of the Mt.Odaigahara area, Kii Peninsula. Annual report of JIBP/CT-S for the Fiscal year of 1969, "Studies on the Animal Communities in the Terrestrial Ecosystems and their Conservation", pp.340: 317-320.

前田喜四雄、1993、奈良県のコウモリ類（1）奈良県からのクロホオヒゲコウモリ、アブラコウモリとコテングコウモリの記録、紀伊半島の野生動物、(1): 19-20.

奈良教育大学教育学部附属自然環境教育センター、1994、奈良教育大学自然環境教育センターの自然、奈良教育大学、pp.107.

表 1. 実習林内で捕獲されたコウモリの種および採集年月日、採集地のメッシュ番号、雌雄、成幼獣、外部測定値

Date	Mesh No.	Species	Sex	Age	Weight(g)	FAL(mm)
1991.05.04	5135-1558	キクガシラコウモリ <i>Rhinolophus ferrumequinum</i>	♀	ad	15.5	61
2008.07.26	5135-1547	コテングコウモリ <i>Murina ussuriensis</i>	♂	yg	8.2	31.3
2008.07.26	5135-1547	コテングコウモリ <i>Murina ussuriensis</i>	♂	yg	8.2	30.4
2008.07.26	5135-1547	コテングコウモリ <i>Murina ussuriensis</i>	♀	yg	8	30.2
2008.07.26	5135-1547	クロホオヒゲコウモリ <i>Myotis pruinus</i>	♀	ad	7.2	32.1
2008.07.26	5135-1547	クロホオヒゲコウモリ <i>Myotis pruinus</i>	♂	ad	7	32.8
2008.09.27	5135-1547	コキクガシラコウモリ <i>Rhinolohus cornutus</i>	♀	ad	5.7	38.6